

骨太・「日本再興戦略」改訂2014の概要

図表1は、図表2の骨太の方針や日本再興戦略に見られるキーワードを整理したものです。ほとんど全てが経済に集約されています。経済の停滞、財政の悪化、少子化は一体となって進んできたことから、再興も経済再生からということにならざるを得ません。

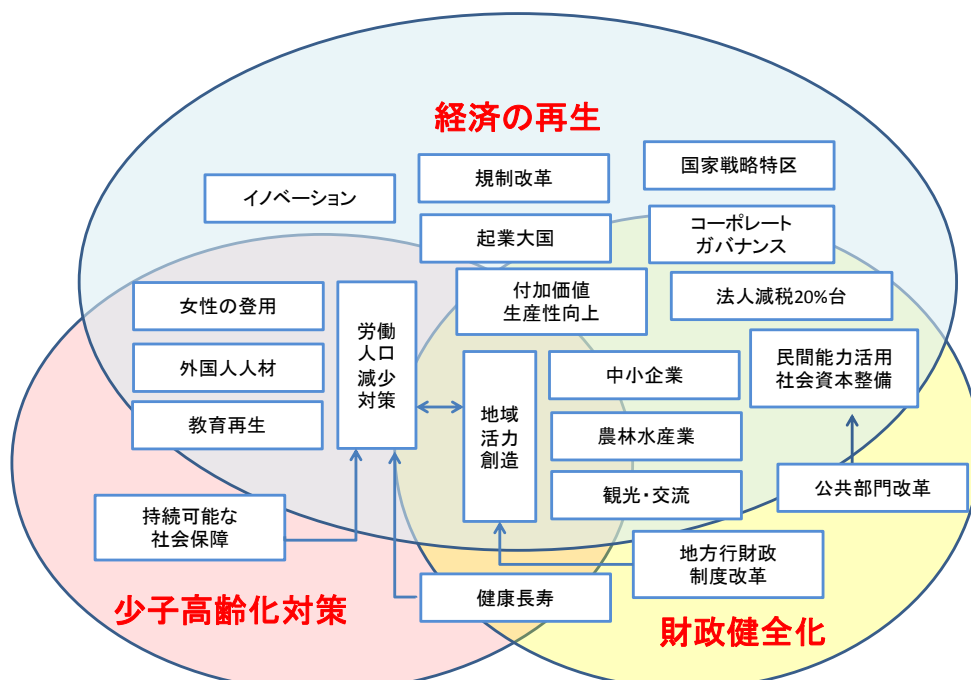
イノベーション、付加価値生産性向上、法人税減税による企業収益拡大、雇用・所得の改善、地域の活性化、活力創造、少子化対策、等々の項目も密接に相互に関連を持っていることが理解されます。

成長戦略は毎年のように作成・改訂されてきました。その都度、政府高官から内容説明があり、数か月後には新予算ができて、予算執行となりますが、結果的には残念ながら実行が伴わなかったようです。成長戦略、年度予算、実行に一体感が無かった、PDCAが機能してなかったと言わざるを得ません。

只今現在は、アベノミクスの第1の矢、第2の矢と言うカンフル剤で景気が持ち直しつつあるようですが、その効果は薄れつつあるようにも見えます。本格的な回復には第3の矢「成長戦略」の確実な実行が不可欠とされています。

前回 nano2biz 第32号の冒頭に、成長戦略の問題は如何に実行に移すかだと書きました。これまでは、「笛吹けど踊らず」の感がありました。笛もたくさんあって、個々には調子の悪い笛、下手な奏者もありましょうが、笛や笛の吹き方に文句をつけるよりも、あるいは聞こえないふりをするよりも、踊って見ましょう。また、よく見れば、取り上げられた項目は貴社の業績向上、イノベーションに繋がる重要な変化が幾つか含まれている、そのような視点で成長戦略を捉えてみるのが我が国の再興に繋がると信じましょう。

図表1. 骨太の方針と日本再興戦略・改訂に見る重要項目



図表 2. 経済財政運営と改革の基本方針『骨太の方針』～脱デフレ・経済再生～

第 1 章 デフレ脱却・日本経済再生と目指すべき姿

項目	主な内容、或いは目標等
1. 停滞の 20 年	
2. デフレからの早期脱却と「再生の 10 年」基本戦略	民間投資の喚起、雇用と所得の増加 財政健全化
3. 目指すべき経済社会の姿	

第 2 章 強い日本、強い経済、豊かで安心・安全な生活の実現

1. 再興戦略の基本方針	1) 科学技術イノベーション による 生産性向上 2) 新たな成長分野の開拓 3) グローバル化 を活かした成長
2. 復興の加速	新しい東北の創造
3. 教育等を通じた基盤強化	1) 教育再生 、文化・スポーツ振興 2) 女性 の力の活用 3) 少子化対策 4) 若者・高齢者の活躍支援
4. 地域・農林水産業・中小企業の再生	1) 地域の活性化 2) 農林水産業 ・地域の活躍促進 3) 中小企業等 の躍進
5. 持続可能な社会基盤	1) 中長期投資 2) 地球環境 への貢献 3) 国土強靱化 、防災・減災 4) 安心・安全な社会 5) 資源・エネルギー の経済安全保障
6. 公的部門の改革	1) 行政改革、2) 地方分権改革 、3) 公的部門への民間参入 4) 電子政府

第 3 章 経済再生と財政健全化の両立

1 & 2. 経済再生と 財政健全化	15 年度までに基礎的財政収支赤字の対 GDP 比半減 2020 年度までの黒字化
3. 歳出の重点化・効率化	1) 社会保障改革 。社会保障給付、薬価改定、診療報酬の検討 2) 民間能力活用の社会資本整備 3) 地方行財政制度
4. 実効性のある PDCA 実行	

第 4 章 15 年度予算編成に向けた基本的考え方

1. 経済財政運営の考え方	中期財政計画に沿って最大限努力 消費税率 10%への引き上げは、14 年中に判断
2. 15 年度予算編成	「日本再興戦略改定 2014」、「中期財政計画」を踏まえ、メリハリのついた予算策定

http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2013/2013_basicpolicies.pdf